

社会福祉懇談会実施事業

第11回「共通職員意識調査」のご案内

社会福祉懇談会では、社会福祉法人独自の課題を明らかにする目的で平成27年度から全法人共通の設問による「共通職員意識調査」を実施しています

福祉人材の確保は喫緊の経営課題です。「職員の定着」に向けて、自法人の現状を把握し、改善を図るポイントを明確にするうえで、有用な調査となります。なお本調査は、匿名にて実施し（報告書に法人名は記載されません）、また社会福祉懇談会会員でない法人も参加できます。

ご参加を希望される法人は、以下、いずれかの方法にてお申込みください。お申込みいただいた法人には、詳細が確定次第、追って事務局からご連絡いたします。

締切 2025年12月19日（金）

1 FAXによる申し込み（FAX：03-6410-7364）

下記フォームをご記入いただき、本書をそのままお送りください。

法人名（※1）			
連絡先住所 （アンケート用紙 送付先）	〒		
TEL		FAX	
担当者名			
E-mail			
調査方法 （どちらかを選択）	Web アンケート		
調査予定人数 （※2）	名		
備考			

※1）報告書に法人名は記載されません（記号表示＝匿名になります）

※2）「調査・分析料」請求枚数となります

2 E-mailによる申し込み

上記内容を記入したメールを社会福祉懇談会事務局までお送りください。

（E-Mail：info@shafukukon.com）

社会福祉法人向け「共通職員意識調査」の実施について

日本生産性本部が企業向けに提供している職員意識調査システム「ナイサーES」を使い、社会福祉法人向けに、全法人共通の設問による職員意識調査を実施するものです。

※) 改善点をより明確にするために、別に案内している「共通利用者満足度調査」と併せて実施することをお勧めします。

1. 目的

- ① 職員の定着に向け、自法人職員の意識を把握し、改善すべき領域を明らかにする
- ② 調査参加法人のデータから、職員定着に繋がる要因、成功事例を抽出する（上手く行っている法人の方法を共有する）

2. 実施対象法人

社会福祉法人（社会福祉懇談会会員でない法人も参加可能）

3. 参加法人負担額

調査・分析料： 25,000 円（税別）
Web アンケートでの回答調査費： 10 円（税別）×参加職員数（※）

※) 申し込み時の「アンケート回答上限数」になります。実際に使用・回収した枚数ではありませんのでご注意ください。また、回答上限数を超えての入力はできませんので予めご了承ください。

4. 調査方式（以下より選択）

・web アンケート（QR コードでの読み込み）による設問への回答
別途、令和元年度離職率データ（見込み）を提出いただきます
令和 3 年度の調査より、Web アンケートでの回答へと調査方式を変更しております。

5. 調査・分析実施機関

日本生産性本部

6. 制約条件

本調査では、法人全職員の結果を一つの集合として分析します。属性別の比較（経験年数、職種、事業等）は出来ませんので、予めご承知おきください。

例) 出来る：設問Aに関する自法人の結果と全参加法人平均値との違い

出来ない：設問Aに関する自法人の管理職と一般職の結果の違い

7. スケジュール

2025年	12月19日	参加法人募集締め切り
2026年	1月	調査用 URL の連絡 回答受付開始
	2月中旬以降	結果分析
	4または5月	報告会（意識調査参加法人対象）
	6月	概要報告（社会福祉懇談会経営セミナーにて）

お問合せ先：一般社団法人社会福祉懇談会事務局
〒140-0015 東京都品川区西大井二丁目5番21号
（ケアホーム西大井こうほうえん内2階）
TEL (03) 6410-7365 / FAX (03) 6410-7364
E-Mail info@shafukukon.com

回答方法

メール等で送られたリンクからページへアクセスし回答

QRコードを読み込みページへアクセスし回答



パソコンから
回答の場合

社会福祉懇談会により職員ES調査

社会福祉懇談会が実施している「職員満足度調査」（日本生産性本部に委託）です。この調査は、当法人のアクションの実行性や方向性の確認のために行っており、個人が特定される形で会社側の関係者が皆様の回答を見ることは一切ありませんので、アンケートには率直にご回答ください。

* 必須

2. 調査内容① Q1～20 *

そう思わない ややそう思わない どちらともいえない ややそう思う そう思う

Q1.あなたは、私たちの法人の理念・ビジョンに共感している

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

スマートフォン・
タブレットの場合

社会福祉懇談会により職員ES調査

社会福祉懇談会が実施している「職員満足度調査」（日本生産性本部に委託）です。この調査は、当法人のアクションの実行性や方向性の確認のために行っており、個人が特定される形で会社側の関係者が皆様の回答を見ることは一切ありませんので、アンケートには率直にご回答ください。

* 必須

2. 調査内容① Q1～20 *

Q1.あなたは、私たちの法人の理念・ビジョンに共感している

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

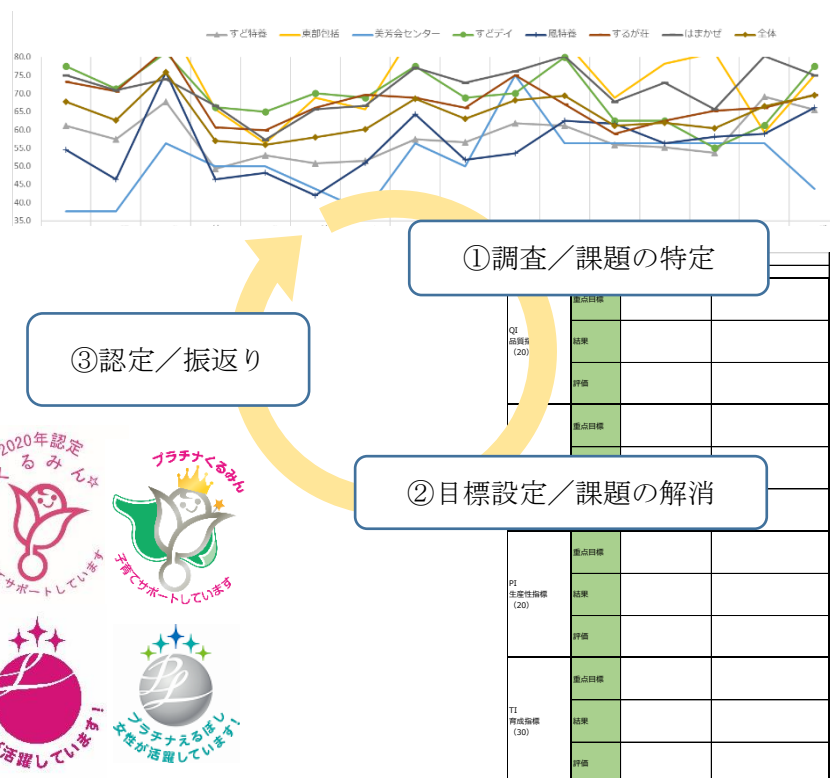
- ・QR コードや URL のリンクを読み込むと調査ページに移ります。
- ・スマートフォンやタブレットやパソコンなどから回答が可能です。
- ・入力途中での保存はできませんので、回答の際にはご注意ください。
- ・本調査の入力内容は個人が特定されることはありません。
- ・フリーワード欄の記入について、表現にはご配慮ください。
- ・回答案内は事務局より書式案をお送りしますのでご利用ください。

満足度調査の活用事例

社会福祉法人美芳会の場合 (静岡県富士市)

美芳会では第1回の調査から実施しているため、すでに5年分のデータがあります。特養・デイなど部署ごとに分けて調査し、内容から課題や次年度の目標設定に活用しています。

- ① 部署ごとの職員満足度調査を行い、理念の浸透や働き方の理解や制度や環境の整備の充実度など職員の目線から様々な観点での項目調査と離職率との関連を調べることによって、部署ごとの課題を特定していきます。
- ② 特定した課題から各部署の翌年の組織目標へ総合満足度の改善や注力する項目の改善目標を設定し、組織改善へ取り組んでいきます
- ③ こうした課題の解消をしていくことにより、働き方改革の課題への解消や離職率への好影響により、更なる制度の拡充し、結果として労働局の認定である「プラチナくるみん」「プラチナえるぼし」「ユースエール」の取得へとつながりました。これによって、介護や福祉では採用困難と言われている中で毎年100件の採用応募へとつながり採用に寄与したりしています。



(図) 美芳会の取組



組織改善をどこから手をつけていいかわからないことが課題だ。という法人もあるかと思いますが、まずは組織の職員の状態を把握してみるところははじめ、課題解決に必要な取り組みを一步一步実施していくことで、困難な採用へも対応できるヒントに繋がります。

合同の報告会にて、うまくいっている取組事例の発表や紹介がありますので、お互いの知見を共有する機会もあります。もちろん美芳会の取組も共有いたしますので、満足度調査についてご興味あるかたは、事務局へお問い合わせください。

社会福祉法人美芳会
人事担当 大塚渉爾